

お知らせ

平成18年11月30日

同時資料提供先

岡山県政記者クラブ

災害対策用機械の操作訓練を実施します。

～バックホウ用遠隔操縦装置の操作訓練をします。～

近年、全国的に地震、豪雨、土砂災害が頻発し、法面の崩落による道路の流失や河川の水
位上昇による破堤といった災害が発生し、その被害規模も年々大きなものとなっています。

岡山河川事務所では、このような災害に備え、迅速・安全に復旧作業を行うことを目的と
したバックホウ用の遠隔操縦装置の操作訓練を実施することとなりましたのでお知らせい
たします。

日時 : 平成18年12月5日(火) 午前の部 9:30~12:00
午後の部 13:30~16:30

場所 : 百間川右岸8k000付近河川敷(岡山市米田地先)

参加者 : 災害協定業者(災害時において災害応急対策を行う協力会社)、岡山国道事務所、
八田原ダム管理所、苫田ダム管理所、福山河川国道事務所、岡山河川事務所
…約70名

●雨天時の対応

小雨決行とさせていただきますが、前日を含め警報の発令に伴う水防体制となる降雨がある
場合(または恐れのある場合)は延期とさせていただきます。

添付資料 : 遠隔操縦装置の概要、訓練場所

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所

電話番号(086)223-5101(代表)

URL : <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>

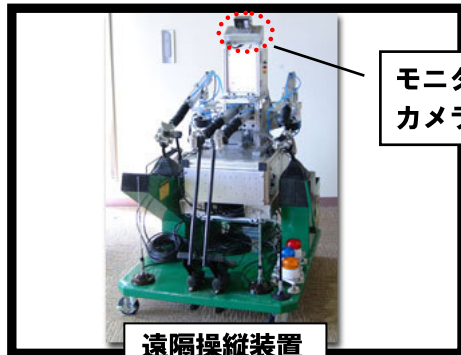
副所長(技術) 宮崎 貢 (内線205)

機械課長 森田 敏文 (内線491)

遠隔操縦装置の概要



装置取付状況



遠隔操縦装置



ヘッドマウントディスプレイ、操縦器装着状況



遠隔操縦作業状況

○使用目的

この装置は、崖崩れによる二次災害の恐れがあるなど人が近づくことが出来ない危険な災害現場で復旧作業を行う際の作業員の安全を確保するために開発された、建設機械を遠隔で操縦するためのロボットです。

遠隔操縦装置は、国土交通省九州地方整備局で開発され、雲仙普賢岳噴火後、危険地域の復旧作業で活躍しました。

○訓練概要

午前の部（約 30 名） 9：30～ 9：40 : 挨拶、説明
 9：40～12：00 : 実操作訓練（1名5～7分程度）
 午後の部（約 40 名） 13：30～13：40 : 挨拶、説明
 13：40～16：30 : 実操作訓練（1名5～7分程度）

※実操作訓練は土砂の掘削積込、走行をヘッドマウントディスプレイを装着し遠隔操作します。

○遠隔操縦装置の諸元

項目	内容	
取付調整員	2～3名	
取付時間	3時間程度	
対応機種	バケット容量0.45m ³ 級以上	
総重量	約180kg	
組立外形寸法	幅	850mm
	奥行き	1,400mm
	高さ	1,040mm
駆動方式	空気圧	
無線方式	特定小電力無線(制御用)	
遠隔操作距離	150m(無線の使用環境による)	

訓練場所地図

